

# 書類交付

下記の順路に沿って各自配付資料を受け取り座席に着席してください。

## ステージ上の配布物

### 順路

- 1 学生証をICカードリーダーにかざしてください。
- 2 ステージ上の配布物を1部ずつ取り、着席してください。
- 3 着席の際は、座席番号がついている座席に着席してください。
- 4 着席後、アンケート説明資料を確認し、アンケートに必ず回答してください。(アンケートの回答をもって出席とします)

# アンケート

## 新入生対象 アンケートのお願い

新入生の入学動機・大学生活で取り組みたいことの把握や今後実施予定のクラス担任との面談に際しての基礎情報として活用することを目的に新入生アンケートを実施いたします。

QRコードからアンケートサイトに移動し  
内容に沿ってご回答ください。

- ※ 回答時間短縮のため、学籍番号を記録できる設定で調査を実施しています。
- ※ 回答は統計的に処理され、個人が特定されることはありません。

QRコードを利用できない方はURL を入力してください。

<https://forms.office.com/r/HCM5EH8jyW>



# 教務ガイダンス

理工学部 1年次

※配布の「配布書類及び解説」に記載されているものが、  
すべて手元にあるか確認してください。



大学とは

卒業するためには

履修登録の仕方（時間割作成）

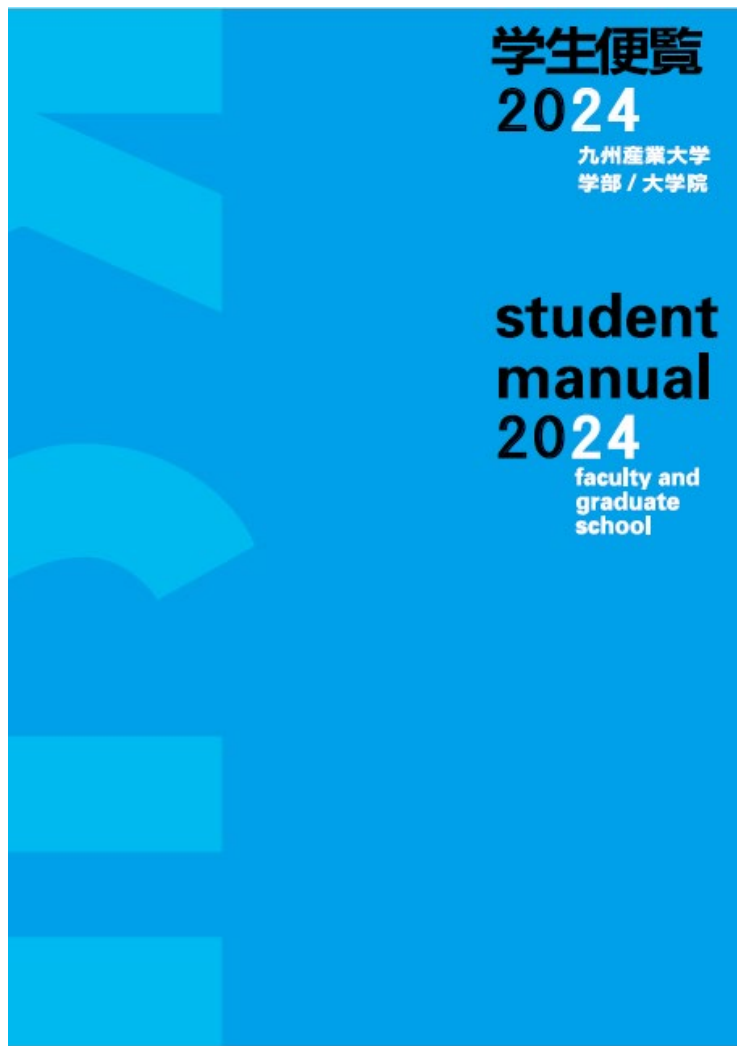
大学生活を過ごす上で

# 高校と大学の違い

	高校	大学
学期制	3学期制(原則)	2学期制(前学期・後学期)
授業時間	50分	100分
授業時間割 (履修)	指定されている (クラス共通)	自分自身で <b>選択</b> する
クラス制及び クラス担任	あり	あり (ゼミナール担当教員)
教室	指定されている (クラス共通)	選択した授業科目によって <b>異なる</b> (授業科目ごとに指定)
卒業要件	学年制(原則)	<b>単位制</b> (124単位以上) 各学部の卒業に必要な単位数を修得する

**大学生は「自己選択→自己決定→自己責任」**

# 学生便覧



在学中、すべてのルールは  
学生便覧に基づいている

学年暦(P.1)

## 1年間のスケジュール

一般のカレンダーと**異なり**、  
休暇期間・祝日授業日等  
を掲載

# 学生便覧【建学の理想と理念について】

九州産業大学 1960年設立

創設者 中村治四郎(1907年～1974年)

〈建学の理想〉 学則 第1条  
(学生便覧4P)

# 産学一如

産業と大学は車の両輪のように一体となって、  
時々の社会のニーズを満たすべきである。

〈建学の理念〉 学則 第1条

市民的自覚と中道精神の振興  
実践的な学風の確立

〈人材育成及び教育研究上の目的〉  
学則 第1条の2 (学生便覧4P)

九州産業大学は、広く産業界の期待に応えられる  
「実践力」「熱意」「豊かな人間性」を持った人材を輩出することを目的としています。



# 学生便覧【修業年限・在学年限】

## 学則 第3条～第4条 (学生便覧 P5)

### 〈修業年限〉

第3条 本学の修業年限は、4年とする。

### 〈在学年限〉

第4条 学生は、8年を超えて在学することはできない。

2 前項の規定にかかわらず、編入学又は再入学を許可された学生は、修業すべき年数の2倍を超えて在学することはできない。

**学生便覧5ページにマーカーなどを  
引いてわかるようにしておきましょう**



# 学年暦【定期試験・追試験】

**前学期授業:** 4月 8日 (月) - 7月19日 (金)

**後学期授業:** 9月16日 (月) - 12月24日 (火)

[ 授業回数: 半期14回・通年28回 ]

祝日授業実施日	4月29日 (月) 昭和の日 7月15日 (月) 海の日 9月16日 (月) 敬老の日 9月23日 (月) 振替休日 (秋分の日) 10月14日 (月) スポーツの日 <b>※授業日のため忘れずに登校すること!</b>
補講日	土曜日または平日6限目に実施
チャレンジマンズ	夏季: 7月28日 (日) - 9月15日 (日) 春季: 1月21日 (火) - 3月20日 (木) <b>※長期休業期間中の学外での活動を推奨</b> (海外留学、ボランティア活動、インターンシップ参加など)

# 学年暦【定期試験・追試験】

## 定期試験

**前学期** | 7月22日（月）－ 7月27日（土）まで

**後学期** | 1月10日（金）－ 1月20日（月）まで

## 追試験

定期試験を**病気、その他やむを得ない事由**で受験できなかった学生に対して行う。

追試験を申し出ることができる事由は**学生便覧**を確認すること。

# K'sLife(ケースライフ)



- ▶ [学生、教員、職員の方はこちら](#)
- ▶ [保護者の方はこちら](#)

個人の履修登録、成績、連絡通知について  
閲覧可能なWEBサイト  
**※毎日確認すること**

## 時間割（授業・定期試験）など教務に関する情報を掲載

### トップページ

- 教務課からのお知らせ
- よくある質問
- 利用の手引き
- 学籍関係      etc...

### 学部別ページ

- 履修・授業・卒業に関すること
- 時間割
- 学部からのお知らせ      etc...

## AIチャットbot



チャットbotに質問

まずはクリック！

- 24時間365日対応可能なAIを使ったシステムです。
- 分からないことがあれば、まずはチャットbotに質問してみましょう！
- 教務部HP、K's Lifeの画面から質問できます。

# 履修登録



自分で時間割を作成し、  
K'sLifeで授業科目を  
**WEB登録**すること

本年度の履修に関する手引書。  
講義受講の注意事項を記載。  
必ず一読し、履修登録すること。

# シラバス

科目コード	DFG30001		
科目名	九州地域学		
担当教員	千 相哲 木村 俊夫 古賀 彰生 雲俣 優 末松 剛 山下 永子 小池 嘉史 高山 和幸 田代 雅彦 基橋 誠 大方 優子 宮岡 祐司 森下 俊一郎 豊島 茂		
対象学年	1年	クラス	[001]
講義室	N302教室	開講学期	後期
曜日・時限	火4	単位数	2
授業形態		単位数	2
準備事項			
備考			
実務家教員	<input type="checkbox"/>		
A 講義概要/Class Outline	地域を取り巻く環境が大きく変化していく中で、地域住民が地域を見直し、誇りを持ち続けられる社会を実現し、地域社会が自律性・独自性を維持するためには、地域の文化的資源の再認識と価値付けが求められる。この授業では、専門領域の異なる教員が連携し、九州の地域社会、経済、産業、人々の暮らしを総合的に概観しながら、九州の地域課題の本質の基本認識、問題解決に必要な考え方、専門領域横断的分析方法や考察方法について学ぶ。【本授業は対面と遠隔を組み合わせて実施し、対面・遠隔の実施日程は初回の授業で指示します】		
B 講義計画(テーマ及び学習内容)	回	内容	
	1	九州の観光特性と観光ビッグバンについて学ぶ。	
	2	九州地域の地理的特性と主要産業の分布について、他の地域との関係について学ぶ。	
	3	九州地域における芸術文化を通じた地域活性化の取り組みについて学ぶ。	
	4	九州地域における農業について、その特徴を農産物ブランドから学ぶ。	
	5	九州地域における地方自治の現状と課題について学ぶ。	
	6	九州地域における様々な課題について、憲法、行政法、地方自治法について学ぶ。	
	7	公的統計を把握しながら、九州地域の人口構成・移動、住まい、暮らしについて学ぶ。	
	8	九州主要地域の国際戦略・都市マーケティング戦略について学ぶ。	
	9	地域に根ざした歴史史料に着目し、先人の育んできた地域社会・暮らしについて学ぶ。	
	10	アニメ聖地巡礼による九州地域への誘客の可能性について、事例から学ぶ。	
	11	温泉王国九州の魅力とは何か。温泉地域の観光の動向とまちづくりについて学ぶ。	
	12	九州の温泉旅館のおもてなしマネジメントについて学ぶ。	
	13	九州の旅行業界のニュービジネスについて学ぶ。	
	14	九州はひとつの理念と九州観光のブランディングについて学ぶ。	
C 到達目標/Class Goal	九州の地域社会や地域課題について学ぶことにより、学部全体の教育を埋め補う。		
D 準備学習の内容(事前・事後学習)	事前学習：教科書の該当部分を事前に読んで講義に臨むこと。(30時間程度) 事後学習：教科書で講義内容を復習し、基礎知識や観光用語を確認すること。		
E 評価基準GradingCriteria	地域共創学部授業科目履修規程「成績評価基準」に基づいて評価する。秀で、可(C)60点から69点まで、不可59点以下		
F 評価方法/Grading Method	授業毎の小テストの結果を総合して評価する。		
G 受講上の注意/Class Rules	講義中は私語を慎むこと。また、講義室は座席指定を行う。		
H 受講前提/Prerequisite	本科目は地域共創学部の全員履修科目であるため、受講生数が教席のキャパをオーバーする場合は、地域共創学部の学生の履修を優先する。		
I 関連する科目RelatedClass	観光関連科目、地域づくり関連科目		

授業科目の内容・学修計画等を記載  
**K'sLifeで閲覧可能**

※シラバスを確認の上で  
履修登録すること

# 出席

入室登録	授業開始 <b>10分前</b> から 授業開始 <b>(チャイム)</b> まで
退室登録	授業終了 <b>15分前</b> から 授業終了 <b>10分後</b> まで

出席の登録は、各教室に設置のICカードリーダーに  
学生証をかざす必要がある。

※学生証をかざす **時間帯** には注意すること。

# 休講・補講

休講：授業担当者のやむを得ない理由で授業が行われないこと。

補講：休講した授業を補うために行う授業。  
土曜日または平日の6限に実施。

※休講・補講の情報は**K'sLifeで通知**。



# 大学の学修

1 時間割を作成、WEB履修登録を行う

時間割確定後、教科書を購入

2 授業に出席

休講・補講に気を付けること

3 レポート提出等、定期試験

4 卒業に必要な単位を修得

5 卒業



学生便覧・履修ガイド・  
授業時間割表を参照すること

# スケジュール

大学とは

卒業するためには

履修登録の仕方（時間割作成）

大学生活を過ごす上で

## 「学則」 大学全体に関するルール

- ・ 第15条：卒業要件  
別表第10は、P.63 に記載。  
卒業までに **124単位以上** 必要。
- ・ 第18条：単位の認定  
授業科目修了の認定は、筆記又は口頭による試験や  
その他適当な方法によって行われる。

成績評価は以下表示形式。

**秀(S)・優(A)・良(B)・可(C)**・不可(D/E)

**単位修得**

# 教育課程

## 基礎教育科目

広く様々な学問を学び  
人間力を養う

## 外国語科目

外国語によるコミュニケーション能力を養う  
(英語・初修外国語)  
「聞く・話す・読む・書く」

## 専門科目

特定の分野について  
専門的に学ぶ  
(学部・学科で異なる)

**卒業（124単位以上）**

# 卒業要件【必修・選択必修・選択科目について】

## 理工学部 履修規程第5条：卒業要件

授業科目区分		授業科目及び単位数					
		情報科学科		機械工学科	電気工学科		
専門科目	必修科目	40単位	さらに専門科目、基礎教育科目、 外国語科目から14単位以上	62単位	56単位	さらに専門科目、基礎教育科目、 外国語科目から20単位以上	
	選択必修科目	—		—	4単位以上		
	選択科目	48単位以上		40単位以上	24単位以上		
基礎教育科目	導入科目	2単位		2単位	14単位以上		14単位以上
	学修基礎科目	14単位以上		14単位以上			
	キャリア科目						
	文理芸融合科目						
教養科目							
外国語科目		英語6単位以上		英語6単位以上	英語6単位以上		
合計		124単位以上		124単位以上	124単位以上		

# 卒業要件【必修・選択必修・選択科目について】

理工学部 情報科学科 (情報技術コース) \*印は必修科目

区分	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
	授業科目	単	授業科目	単	授業科目	単	授業科目	単
専門基礎	*情報リテラシー	2	*プログラミング基礎Ⅱ	2				
	*プログラミング入門	2	日本語表現法	2				
	*プログラミング基礎Ⅰ	2	技術者倫理	2				
	*情報科学基礎演習	2	物理学	2				
	電気工学概論	2	現代自然科学	2				
	基礎物理	2						
情報数理	基礎工学概論	2						
	*基礎数学	2	確率統計	2	微分幾何学Ⅰ	2		
	線形代数Ⅰ	2	初等幾何学	2	微分幾何学Ⅱ	2		
	線形代数Ⅱ	2	微分積分Ⅱ	2	位相幾何学Ⅰ	2		
	離散数学Ⅰ	2	離散数学Ⅲ	2	位相幾何学Ⅱ	2		
	離散数学Ⅱ	2	離散数学Ⅳ	2	代数学Ⅰ	2		
	微分積分Ⅰ	2	情報理論・確率論	2	代数学Ⅱ	2		
	解析幾何学	2	統計学	2	数値解析学	2		
			ベクトル解析	2	位相空間論	2		
			微分方程式	2	関数解析学	2		
計算機科学			複素解析	2				
	*計算機構成論Ⅰ	2	*データ構造とアルゴリズムⅠ	2	データ構造とアルゴリズムⅡ	2		
	*モバイルプログラミング演習	2	*計算機構成論Ⅱ	2	ハードウェア実験Ⅱ	2		
			*ハードウェア設計Ⅰ	2	ハードウェア設計Ⅲ	2		
			*ハードウェア設計Ⅱ	2	オブジェクト指向設計	2		
			*ハードウェア実験Ⅰ	2	信号処理	2		
			*AIプログラミング演習	2	計算モデル論	2		
			*データ構造とアルゴリズムⅡ演習	2	情報セキュリティ	2		
			プログラミング論とコンパイル	2	パターン認識と機械学習	2		
			コンピュータネットワーク	2	データベース	2		
専門展開			モデリングとシミュレーション	2				
			オペレーティングシステム	2				
			コンピュータグラフィックス基礎	2	ヒューマンコンピュータインタラクション	2		
					知能情報システム論	2		
					交通システム論	2		
					アルゴリズム論	2		
					コンピュータグラフィックス応用	2		
					経営情報学	2		
					マルチメディア	2		
					ソフトウェア工学	2		
実践力養成					知的財産権	2		
					金融システム論	2		
					流通システム論	2		
					工業デザイン	2		
					計画と管理	2		
					情報と職業	2		
					ゲームプログラミング演習	2	*卒業研究	6
					組込みソフトウェア演習	2		
					グラフィックスプログラミング演習	2	*情報科学演習Ⅰ	2
				クラウドプログラミング演習	2	*情報科学演習Ⅱ	2	
				情報処理技術Ⅰ	2	プロジェクトデザイン管理	4	
				情報処理技術Ⅱ	2	Webプログラミング演習	2	
						インターンシップ	2	
						ゼミナール・サポーター	2	
						実践情報科学演習	2	

## 〈専門科目〉 年次別授業科目配当表

4年間で履修できる専門科目が  
全て記載されている。

### 《卒業するまでに必要な単位数》

#### 情報科学科

\*必修科目 40単位  
□選択科目 48単位

#### 機械工学科

\*必修科目 62単位  
□選択科目 40単位

#### 電気工学科

\*必修科目 56単位  
△選択必修科目 4単位  
□選択科目 24単位

# 卒業要件【外国語科目・基礎教育科目について】

年次別授業科目配当表

理工学部共通	区分	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次
		授業科目(単位)	授業科目(単位)	授業科目(単位)	授業科目(単位)
基礎教育科目	科目導入	大学スタディスキル (2)			
	学修基礎	活用英語(文法力) (2)	活用英語(伝達力) (2)		
		活用数学(計算力) (2)	活用数学(応用力) (2)		
	キャリア	くらしの中の数学 (2)			
		A1導入 (2)			
	キャリア	プログラミング導入 (2)			
		データリテラシー (2)			
	キャリア	キャリア形成基礎 (2)	キャリア開発論 (2)	キャリア形成戦略 (2)	
		正解者リテラシー (2)			
	キャリア	消費者リテラシー (2)			
丸産大力 (2)					
キャリア	学生サポーター (2)				
	学生ボランティア入門 (2)				
文芸芸術総合科目	実践クロス講座 (2)		インタラクティブデバイスセッション (2)		
	実践クロス演習 (2)				
文芸芸術総合科目	実践力育成演習 (2)				
	課題解決演習 (2)				
文芸芸術総合科目	実践コラボ講座 (2)				
	実践コラボ演習 (2)				
教養科目	人文科学科目	日本の歴史 (2)			
		世界の歴史 (2)			
	人文科学科目	哲学の世界 (2)			
		文学の世界 (2)			
	人文科学科目	心理学の世界 (2)			
		文化人類学 (2)			
	人文科学科目	美学・美術史 (2)			
		芸術の世界 (2)			
	人文科学科目	人文科学の世界 (2)			
		法学 (2)			
社会科学科目	日本国憲法 (2)				
	現代の政治 (2)				
社会科学科目	地理の世界 (2)				
	人権・平和問題 (2)				
社会科学科目	ジェンダーと社会 (2)				
	社会科学の世界 (2)				
自然科学科目	科学の世界 (2)				
	地球環境 (2)				
自然科学科目	生物の世界 (2)				
	自然科学の世界 (2)				
健康身体	スポーツ科学演習 (2)				
	心と身体の健康 (2)				

〈基礎教育科目・外国語科目〉  
**年次別授業科目配当表**  
**4年間で履修できる基礎教育科目と外国語科目が**  
**全て記載されている。**

《卒業するまでに必要な単位数》

**情報科学科**  
 16単位以上(導入科目2単位含む)

**機械工科学科**  
 16単位以上(導入科目2単位含む)

**電気工学科**  
 14単位以上(キャリア科目含む)

《卒業するまでに必要な単位数》

**3学科共通**  
**英語 6 単位以上**

外国語科目	区分	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次
		授業科目(単位)	授業科目(単位)	授業科目(単位)	授業科目(単位)
共通英語	Reading & Writing I (1)	Reading & Writing II (1)	Reading & Writing III (1)	Reading & Writing IV (1)	
	Listening & Speaking I (1)	Listening & Speaking II (1)	Listening & Speaking III (1)	Listening & Speaking IV (1)	
英語	English Plus (1)				
	English Expressions (2)				
キャリア	Four Skills I (2)	FOEIC Plus (2)			
	Four Skills II (2)	Reading Focus (2)			
キャリア	Labo Training I (1)	Writing Focus (2)			
	Labo Training II (1)	Business English (2)			
キャリア	Domestic Job Training (4)	English Pronunciation (2)			
	Overseas Job Training (4)	Introduction to Translation (2)			
初修外国語科目	ドイツ語 I (1)	ドイツ語 II (1)	ドイツ語 III (1)	ドイツ語 IV (1)	
	ドイツ語 II (1)	ドイツ語 III (1)	ドイツ語 IV (1)	ドイツ語 V (1)	
初修外国語科目	フランス語 I (1)	フランス語 II (1)	フランス語 III (1)	フランス語 IV (1)	
	フランス語 II (1)	フランス語 III (1)	フランス語 IV (1)	フランス語 V (1)	
初修外国語科目	韓国語 I (1)	韓国語 II (1)	韓国語 III (1)	韓国語 IV (1)	
	韓国語 II (1)	韓国語 III (1)	韓国語 IV (1)	韓国語 V (1)	
初修外国語科目	中国語 I (1)	中国語 II (1)	中国語 III (1)	中国語 IV (1)	
	中国語 II (1)	中国語 III (1)	中国語 IV (1)	中国語 V (1)	
初修外国語科目	中国語 III (1)	中国語 IV (1)	中国語 V (1)	中国語 VI (1)	
	中国語 IV (1)	中国語 V (1)	中国語 VI (1)	中国語 VII (1)	

※【タロス科目】は、各学部の学生が交差(クロス)して取り組む授業科目を指す。  
 ※【コラボ科目】は、各学部の教員が協働(コラボレーション)して実施する授業科目を指す。

区分	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次
	授業科目(単位)	授業科目(単位)	授業科目(単位)	授業科目(単位)
日本語	アカデミック日本語(読む・書く) A (1)	アカデミック日本語(読む・書く) A (1)	アカデミック日本語(読む・書く) A (1)	アカデミック日本語(読む・書く) A (1)
	アカデミック日本語(読む・書く) B (1)	アカデミック日本語(読む・書く) B (1)	アカデミック日本語(読む・書く) B (1)	アカデミック日本語(読む・書く) B (1)
日本語	アカデミック日本語(読む・書く) C (1)	アカデミック日本語(読む・書く) C (1)	アカデミック日本語(読む・書く) C (1)	アカデミック日本語(読む・書く) C (1)
	アカデミック日本語(読む・書く) D (1)	アカデミック日本語(読む・書く) D (1)	アカデミック日本語(読む・書く) D (1)	アカデミック日本語(読む・書く) D (1)
日本語	アカデミック日本語(読む・書く) E (1)	アカデミック日本語(読む・書く) E (1)	アカデミック日本語(読む・書く) E (1)	アカデミック日本語(読む・書く) E (1)
	アカデミック日本語(読む・書く) F (1)	アカデミック日本語(読む・書く) F (1)	アカデミック日本語(読む・書く) F (1)	アカデミック日本語(読む・書く) F (1)
科目	日本の歴史 I (2)	日本の歴史 II (2)	日本の文化 I (2)	日本の文化 II (2)
	日本の政治経済 I (2)	日本の政治経済 II (2)	一般日本事情 I (2)	一般日本事情 II (2)

# 卒業要件【履修制限について】

1年間で履修できる上限単位数

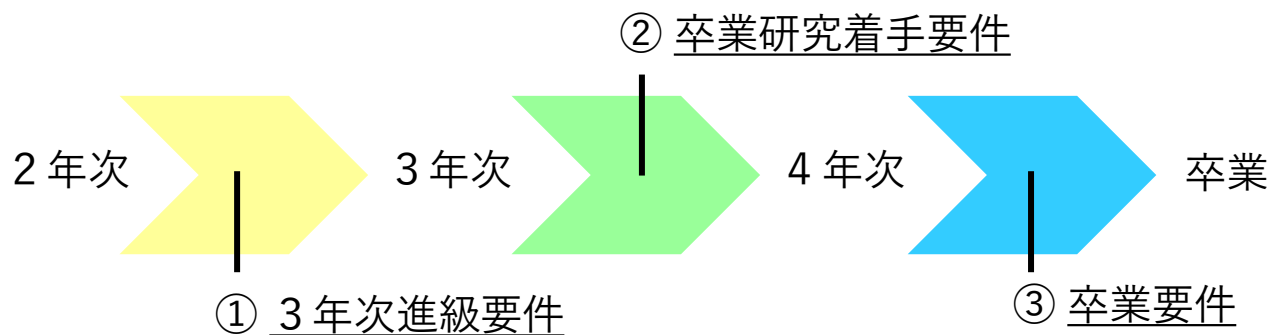
**44単位**

半期で履修できる上限単位数

**28単位**

※ 1年次後学期以降の基礎数学、基礎物理、大学スタディスキルの再履修クラス、集中講義科目は履修上限には含まれません。

各年次ごとの要件



各要件をしっかりと理解し、計画的に履修登録を行いましょう。



# 卒業要件【履修制限について】

## ① 3年次進級要件

1年次及び2年次に配当されている授業科目のうち、下記要件を修得していなければ2年次のままとし3年次に進級することができません。

【情報科学科】「基礎数学」を含む56単位以上

【機械工学科】56単位以上

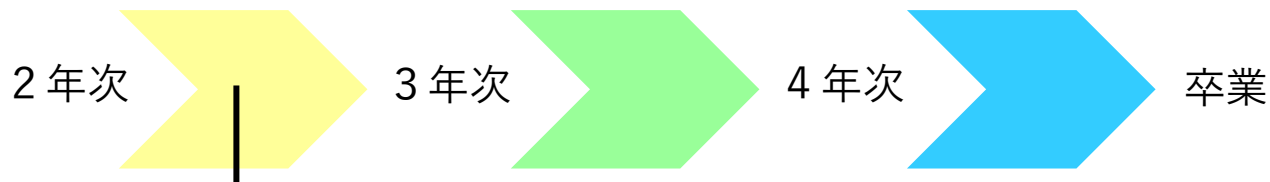
【電気工学科】「基礎数学」「基礎物理」を含む56単位以上

3年次に  
進級できない



「卒業延期」

決定



① 3年次進級要件

# 卒業要件【履修制限について】

## ② 卒業研究着手要件

卒業に必要な124単位のうち、下記要件を修得していなければ  
卒業研究に着手することができない。

- 【情報科学科】情報科学演習Ⅰ、Ⅱを含む100単位以上
- 【機械工学科】必修科目42単位を含む100単位以上
- 【電気工学科】必修科目40単位を含む94単位以上

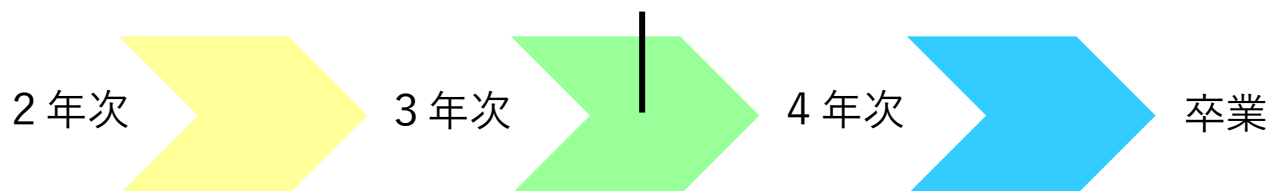
4年次配当科目「**卒業研究**」は**必修科目**

卒業研究に  
着手できない



「**卒業延期**」  
**決定**

② 卒業研究着手要件

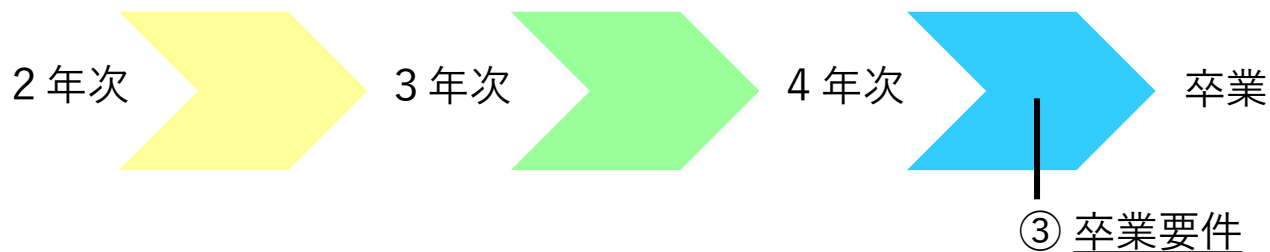


# 卒業要件【履修制限について】

## ③ 卒業要件

卒業するまでに必要な単位は、124単位  
ただし、下記の卒業要件を満たさなければならない。

授業科目区分		授業科目及び単位数			
		情報科学科		機械工学科	電気工学科
専門科目	必修科目	40単位	さらに専門科目、基礎教育科目、 外国語科目から14単位以上	62単位	さらに専門科目、基礎教育科目、 外国語科目から20単位以上
	選択必修科目	—		—	
	選択科目	48単位以上		40単位以上	
基礎教育科目	導入科目	2単位		2単位	
	学修基礎科目	14単位以上	14単位以上		
	キャリア科目				
	文理芸融合科目				
教養科目					
外国語科目		英語6単位以上		英語6単位以上	英語6単位以上
合計		124単位以上		124単位以上	124単位以上



履修が不安な学生は成績原簿を印刷し、教務課へ

# スケジュール

大学とは

卒業するためには

**履修登録の仕方（時間割作成）**

大学生活を過ごす上で

# 授業時間割

## 配布している授業時間割表は3種類

- ① 「理工学部（各学科） 授業時間割表」
  - ② 「KSU基盤教育科目・教職・留学生（日本事情）科目」
  - ③ 「KSU基盤教育科目（外国語科目・留学生の日本語）」
- ※ ②と③は全学共通

# 授業時間割【見方について】

授業時間割には、  
期別（前・後学期・通年）・講義科目・担当者・講義室が記載

## ◎時間割表の見方

「●年次」：**履修可能年度**を確認してください。  
「再履修」：再履修のみのクラス、「補習」：補習授業

### 【例】

再	・・・クラス等（再：再履修クラス）
* 基礎物理	・・・科目区分 + 科目名
[207]中村賢	・・・クラスコード、担当者
8216	・・・教室
23～17 RS、RM、RE(合同)	・・・ <b>履修可能年度</b> （他学科と合同開講）

履修可能年度の数字は入学年度を表す。

（例）23のみ [2023年度入学生のみを対象とする科目]

22～17 [2022～2017年度入学の学生を対象とする科目]

**「理工学部（各学科）授業時間割表」の別紙に時間割の見方を記載しているので確認してください。**



# 授業時間割【見方について】

## 教室の見方

N101・・・1号館1階北側101教室

2E301・・・2号館3階東側 301教室

8315・・・8号館3階 8315教室

12107・・・12号館1階 12107教室

42番・・・中央会館4階42番教室

パソコン教室1・・・中央会館4階 パソコン教室

パソコン演習室2・・・中央会館3階 パソコン演習室

授業時間割を変更する場合

- ①授業追加
  - ②受講者数等の理由で教室変更
  - ③担当者変更等
- ※教務部HPに掲載



履修ガイド+K`sLife利用ガイドにも  
記載されています。

# 授業時間割【英語クラスについて】

## 事前に履修登録されている外国語科目

- 「Reading & Writing I・II」
- 「Listening & Speaking I・II」  
英語プレイスメントテスト結果によりクラス分け。

4/6(土)に登録されるため、**K' sLifeを確認**すること。



# 基礎教育科目の国語科目と数学科目について(1年次生)

4月2日(火)に実施した国語・数学プレイスメントテストの結果により、以下の科目が**履修登録されている場合**があります。  
この場合は**必ず履修**し、単位を修得してください。

## 【国語科目】

- ・低得点層：「実用国語（文章力）」または「人文科学の世界」
- ・高得点層：「実践クロス講座（応用国語）」

※「実践クロス講座（応用国語）」は、夏休み集中講義で実施するため、年間履修上限単位数には含まない。

## 【数学科目】 ※文系学部のみ

- ・低得点層：「実用数学（計算力）」または  
「実用数学（計算力）」 + 「リメディアル数学」

※「リメディアル数学」は補習授業のため、単位は認定されない。

# 基礎教育科目の【文理芸融合科目】について(1年次生)

基礎教育科目の中には【**文理芸融合科目**】という区分があります。  
『**実践クロス講座**』や『**実践コラボ演習**』、『**教養講座**』などです。

内容は、**SDGs**や**ダイバーシティ**、**AI**や**警察**、さらには**囲碁**まで、  
様々なジャンルを揃えています。

上記の内容も含め、基礎教育科目では幅広い教養を学べるように  
設定されていますので、ぜひ興味のある科目を探してみてください。

# AI・データサイエンス副専攻について

## AI・データサイエンス副専攻について -学部横断型の学び-

- 1 社会において必要とされる、AI・データサイエンスに関する**基礎的な教養**を修得する。
- 2 本学に設置する分野から、横断的にAI・データサイエンスに関する様々な**知識・経験**を得る。
- 3 体系的な学修を通して、AI・データサイエンスの考え方を**理解・活用**することができる。

今後のためにぜひ受講してください。

※興味がある学生は学生便覧を確認してください。

# 理工学部数理・データサイエンス・AI教育プログラム

令和6年度開  
始

## 目的

1. 社会において必要とされる、数理・データサイエンス・AIに関する**応用的な教養**を修得する。
2. 体系的な学修を通して、数理・データサイエンス・AIに関する高度で**実践的な知識・経験**を得る。
3. 自らの専門分野において、**数理・データサイエンス・AIを**

数理・データサイエンス・AI  
教育プログラム認定制度  
(**応用基礎レベル**)  
認定申請予定

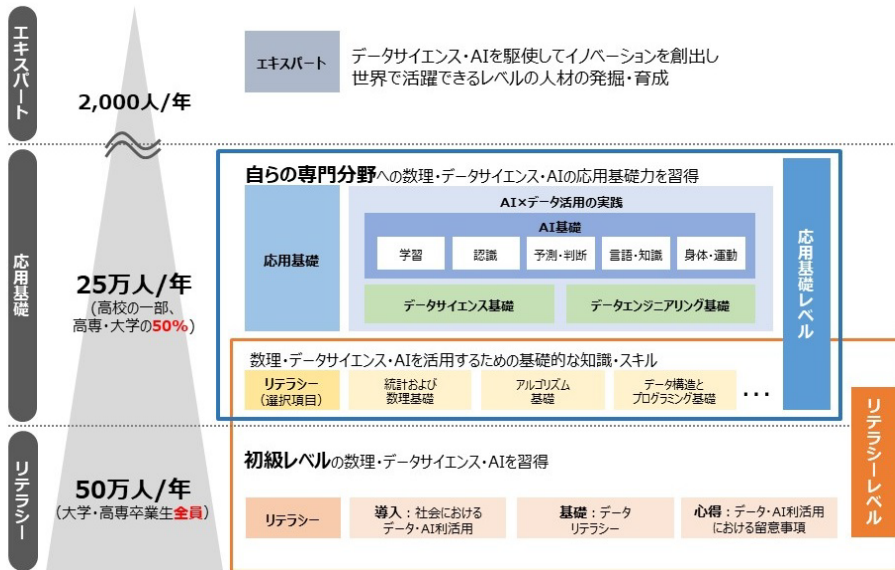
**実践的に活用できる応用基礎力を修得する。**

- プログラムへの登録は不要。
- 他学科の対象科目を履修する場合は、**他学科履修の手続きをとる。**
- 必要な単位(右表)の修得者に**修了証が発行される。**

区分	科目名	単位	開講年次	開講学科等
必修	微分積分 I	2	1	全学科
	線形代数 I	2	1	全学科
	AI導入	2	1	KSU基盤教育
	プログラミング入門	2	1	全学科
	プログラミング基礎 I	2	1	全学科
	情報リテラシー	2	1	情報科学科 電気工学科
選択 (2単位)	AIプログラミング演習	2	2	情報科学科 機械工学科
	AIリテラシー	2	3	機械工学科
	AI応用	2	2	電気工学科

※学生便覧2024(P157～158)に、履修要領が載ってます。

# 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度



**応用基礎レベル**: 自らの専門分野において、数理・データサイエンス・AI教育を応用・活用することができる応用基礎力を習得することを目指す。  
▶本学 理工学部数理・データサイエンス・AI教育プログラム **認定申請予定**

**リテラシーレベル**: デジタル社会の基礎的な素養としての初級レベルの数理・データサイエンス・AIを習得することを目指す。  
▶本学 AI・データサイエンス副専攻 **認定済**

文部科学省 数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/suuri\\_datascience\\_ai/00001.htm#01](https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/suuri_datascience_ai/00001.htm#01)

# 卒業要件【成績原簿の見方について】

## 情報科学科

専門必修 科目 (40)	専門選択 科目 (48)	小計 (88)	基礎教育 科目 (14)	導入科目 (2)	小計 (16)	①			②		合計 (124)
						英語 (6)	外国語科 目	小計 (6)	専門基礎 外国語 (14)	小計 (14)	
14	12	26	10	2	12	4	0	4	0	0	42

### 注意①

外国語の卒業要件は「英語」のみです。  
他の言語を修得することは可能ですが、外国語の卒業要件には含まれません。

### 注意②

( ) 内の単位数を超えて修得した単位は「専門・基礎・外国語から、さらに14単位以上」に加算され卒業要件に含まれます。

## 他学部、他学科履修

- ① 他学科科目を履修する場合は6単位以内に限り「専門科目の選択科目」として振替えることができます。
- ② 他学部科目を履修する場合は4単位以内に限り「基礎教育科目」として振替えることができます。

# 卒業要件【成績原簿の見方について】

## 機械工学科

専門必修 科目 (62)	専門選択 科目 (40)	小計 (102)	基礎教育 科目 (14)	導入科目 (2)	小計 (16)	英語 (6)	外国語科 目	小計 (6)	合計 (124)
24	4	28	10	2	12	4	0	4	44

### 注意点

外国語の卒業要件は「英語」のみです。  
他の言語を修得することは可能ですが、外国語の卒業要件には含まれません。

### 他学部、他学科履修

- ① 他学科科目を履修する場合は、6単位以内に限り「専門科目の選択科目」として振り替えることができます。
- ② 他学部科目を履修する場合は、4単位以内に限り「基礎教育科目」として振り替えることができます。



# 卒業要件【成績原簿の見方について】

## 電気工学科

専門必修 科目 (56)	専門選択 必修科目 (4)	①			小計 (84)	基礎教育 科目 (14)	小計 (14)	②			③		合計 (124)
		専門選択 共通科目 (12)	専門電気 電子科目	専門情報 通信科目				英語 (6)	外国語科 目	小計 (6)	専門基礎 外国語 (20)	小計 (20)	
24	0	0	0	0	24	14	14	4	0	4	0	0	42

### 注意①

【専門共通】より**全員12単位以上** + **【電気電子】  
【情報通信】** } **どちらか選択して12単位以上**

### 注意②

外国語の卒業要件は「**英語**」のみです。  
他の言語を修得することは可能ですが、**外国語の卒業要件には含まれません。**

### 注意③

( ) 内の単位数を超えて修得した単位は「**専門・基礎・外国語から、さらに20単位以上**」  
に**加算され卒業要件に含まれます。**

## 他学部、他学科履修

- ① **他学科科目**を履修する場合は**6単位以内**に限り「**専門科目の選択科目**」として振替えることができます。
- ② **他学部科目**を履修する場合は**4単位以内**に限り「**基礎教育科目**」として振替えることができます。



# 履修登録

## 履修登録期間

4月6日(土) 10:00

- 4月8日(月) 23:55 まで

※ 前学期・後学期及び通年科目すべてこの期間に登録すること。

## 履修登録変更期間

**前学期** 4月 9日(火) 10:00 - 4月12日(金) 23:55まで

**後学期** 9月 9日(月) 10:00 - 9月20日(金) 23:55まで

※ 他学部・他学科科目の履修はこの期間に申請すること。

他学部・他学科科目の履修希望者はまず教務部窓口へ。



- 授業内容・教室の規模に応じて履修登録を制限している科目もある。
- 履修登録期間終了後は科目の追加登録はできません。

# 学籍情報の更新

1

menu > マイinfo > 学生情報をクリック



2

学籍詳細情報の「編集」をクリック



## 学生情報編集

学生情報を入力して、「登録」ボタンを押してください。  
必須入力項目には、項目名の右側に必須マークが表示されています。  
学籍詳細情報の郵便番号、住所、電話番号項目で、登録内容に変更のある場合は、画面右下の「変更届」を印刷し、  
必要事項を記入して 教務課へ必ず 提出してください。  
携帯E-mailアドレスを変更登録した場合、登録したアドレスあてに「登録メールアドレス確認」という件名のメールが届きます。

A screenshot of the student information edit form. The form contains the following fields:

学籍番号	■■■■■
在籍状況	在学中
学生氏名	学生 一郎
性別	男
在学形態	一般学生
学生区分	一般学生

At the bottom right, there are two buttons: '変更届印刷' (Print Change Notice) and '登録' (Register), with the '登録' button highlighted by a red box.

3

変更が生じた情報を更新し、「登録」をクリック

## 注意点

- ①氏名等WEB上で更新できない項目に変更が生じた場合は教務課窓口に 変更届を提出してください。  
**教務課WEB>学籍に関するページ>本人・保証人の住所等変更について**
- ②必ず**最新の電話番号・アドレス**に変更してください。

# スケジュール

大学とは

卒業するためには

履修登録の仕方（時間割作成）

大学生活を過ごす上で

# 教職資格等

教職・学芸員・社会教育主事・司書等  
資格取得が可能

## 《教職課程》

1年次後学期から履修開始

**7月頃教職ガイダンス実施(1年次生対象)**

## 《司書・学芸員・社会教育主事》

1年次前学期から履修開始

資格課程ガイダンス(司書・司書教諭・学芸員・社会教育主事)

希望者は以下時間帯に**必ず出席**すること。

**4月5日(金) 17:30～ S201教室**

# 日本学生支援機構奨学金

※高校時に申請を行い「採用候補者」となった学生が対象

**理工学部 1年生**

**場所: 1号館2階 S201教室**

**日程: 4月4日(木)16:00~**

※なお、高校時に申請していない方で、日本学生支援機構奨学金の貸与を希望される方につきましては、この説明会ではなく、新規在学採用の説明会を別途開催します。掲示板等で日程・集合時間等を確認のうえ、出席してください。ご不明な点については、1号館3階厚生課にお尋ねください。

## 教科書購入Webサイト

---

Webサイト公開期間

4月3日(水) - 5月31日(金)

教科書受渡

受渡場所

3号館 8階 教科書受渡所

受渡期間

4月5日(金) - 4月26日(金)

※この日以降は1号館横 丸善売店で受け渡し



- 履修する科目のシラバスを確認すること
- 購入後の返品ができない場合があるため、履修登録が終了した後購入すること。

# 本日以降スケジュール

※詳細は、入学式後の書類交付で配布した  
新入生オリエンテーション等日程表を確認

4月6日（土）

10：00～ 履修登録開始

4月8日（月）

授業開始



資格取得講座等のWEBページ→ [Skill Up for MIRAI](#) 詳しくは大学HPからチェック！！

A banner image for 'Skill Up for MIRAI' featuring a woman in a library. The background is a bookshelf filled with books. The woman is sitting in a chair, looking thoughtful. The text 'Skill Up for MIRAI' is prominently displayed in white. Below it, the text 'あなたの未来に役立つ資格' is written. On the left side, there is a vertical red bar with 'KSU' and 'MENU' text. On the right side, there is a smaller inset image of the same woman with the text 'ON CAMPUS MERIT' and '学内受講のメリット'.

## 《受講メリット》

- ①国家・公的・民間の幅広い資格に対応
- ②九産大生用の特別価格 & カリキュラム
- ③学内受講による時間の有効活用
- ④充実したサポート

資格を取得することで  
**最大5万円をキャッシュバック**する  
《キャリア・アップ支援奨励金制度》  
対象資格講座も多数開講！

※資格種別により支給額が異なります





# 九州産業大学キャリア支援センター LINE公式アカウント

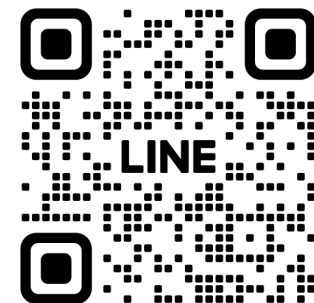
**※必ず登録してください！！**

就職支援行事の案内に加えて、  
K'sLifeで流していない、細かな支援  
サービスやイベントのご案内等を配信  
しています！



## ポイント

- ① 情報を逃さずゲット！
- ② 各種サービスに簡単アクセス！
- ③ 面接練習の予約ができる！
- ④ 通知OFFでもOK！



# 教務課からのお願い

## 1. 電話に出てください

「092-673-\*\*\*\*」は大学からの大事な連絡です。  
必ず電話に出るか、折り返しの連絡をしてください。

## 2. 学籍情報を更新してください

メールアドレス・電話番号が変わったら必ず更新してください。  
住所変更等、K's Lifeで更新できない項目が変わったら、必ず教務課に届出をしてください。

## 3. わからないことは何でも相談してください

分からないことがあったら、まずは自分で調べてみてください。  
調べても分からなければ、すぐ聞く、連絡する、相談するなどしてください。